

四国中央市福祉バス運営審議会 会議概要

1. 日 時 平成30年7月12日（木） 午後2時00分～午後3時00分
2. 開催場所 四国中央市 新宮窓口センター1階応接室
3. 出席者 委員 出水武美、野村浩、山本正行、藤原清子、藤原孝子（敬称略）
事務局 観光交通課交通政策室長 篠原克昌、課長補佐 大岡潤、
係長 石川恵次
（欠席） 委員 三鍋邦代、事務局 観光交通課長 篠原敬三

会議の概要

1. 会長挨拶（出水武美）
2. 自己紹介

各自己紹介の後、一般公募により、三鍋邦代様が任命されたが、本日は所用のため欠席の連絡があったことを報告した。

3. 議 事

① 29年度の福祉バス利用状況について

利用状況の前に事務局から、昨年度の概要と成果について次のように報告した。

新宮地域の高齢者等の移動手段確保のため、福祉バス9路線の運行業務を行なった。

平成29年9月30日をもって瀬戸内バスが新宮～天日間の運行を廃止したため、上山下部線を増便した。また地域住民の移動手段の効率化を図るため、新瀬川線及び上山上部線の土曜日運行を廃止し、鳩岡・茂地線及び天日・茂地線は全便廃止すると共に、平日の運行時刻変更に伴い、全路線の見直しを行なったと説明した。

続いて、資料1ページ目より月別路線別の利用状況について、一般（現金）利用者数全体では、3,011人となり、内新瀬川線については、一般（現金）利用者が、727人。2ページ目の(2)通学による定期券利用者（1,646人）と、回数券による利用者（891人）を加えると、2,537人。更に同ページの(3)しこちゅーチケット利用者4人を加えると年間利用者数は、3,268人の利用となり、路線全体では、5,595人の利用があったと報告した。

資料3ページ目より、年間利用者数を22年度から29年度までをグラフ化したもので、全体的に右肩下がりの傾向にあるが、上山下部線については昨年度比で3倍近く増加している。これは、今回の瀬戸内バス廃止に伴う利用者増と考えている。どの路線も地域住民にとっては必要不可欠な路線であるため今後も継続していきたい。と報告した。

続いて、副会長の野村校長から、新宮町内在住の児童数は34名であり、内福祉バス利用者は3名、あとは寺内方面からのスクールバスと小中学校近隣からの徒歩通学者となる。と報告があった。

この後、会長から、議題の福祉バス利用状況について、委員から質問の有無について確認したところ、質問は無かった。

②その他

平成30年7月豪雨による福祉バス路線運行の変更及び通行止め状況について、日浦線は、7月7日に国道319線の新宮町馬立市仲付近で道路欠落により、愛媛県土木事務所が通行止めの措置をとったため、7月8日に事務局で通行止めの確認を行ない、夕方運行の変更について町内放送で住民に周知した。そのため、7月9日第1便より市仲バス停留所手前で折り返し運行を行っていたが、その後、愛媛県土木事務所から復旧したとの連絡を受けて事務局及びバス運転手も現地を確認したが運転に支障が無かった為、第3便から通常運行に戻したことを事務局が報告した。

上山下部線についても、国道319号線新宮町上山大古見付近で7月7日から通行止めとなり、天日バス停留所を経由せず、塩塚口バス停留所から直接、終点の鳩岡集会所バス停留所へ向かうなど路線短縮を現在も行なっていることを合わせて報告した。

事務局報告の後、会長から土砂をとりあえず除けている状況で山になっているのが目についた。8月の道づくり活動において、写真を記録として残しておく予算の範囲内で補助があると思われるので、念のため写真は撮っておくようと呼びかけた。

次に、副会長から、先日、高知県方面に行きたいと言う方に出会って、無知なため最短ルート案内してしまった。今、事務局からどのルートも通れないことを聞いてわかったが、うかつなことは言えないと思った。

藤原孝子委員からは、319号線の大古見の通行止めを知らずに結構多くの車両が家の前を通過して行っては、引き返してくる状況を見ながら、国道319線の通行止め案内があればいいのだがとの意見が出た。早速、会終了後に県土木事務所に連絡することにした。(会終了後、愛媛県土木事務所に連絡済み)

最後に事務局より5月に高橋健二さんの退職に伴い、バス運転手の交代があり、柳原拓郎さんが乗務していることを報告した。

会長から各委員に全体をとおして質問があるか確認をしたが、質問が無かったため閉会とした。

(閉 会)